

映像 12 本 DVD 付き副教材

『私と世界 6 つのテーマと 12 の視点』

実践事例

授業副教材

総合学習

授業/長期休みの宿題・課題

エッセイコンテスト

ディスカッション

AO/推薦受験対策



—新学習指導要領適応（全教科）

グローバル教育

言語活動の充実

課題追求・探究的な学習

国際教育

道徳

ESD 教育（持続可能な社会）

小論文・AO入試対策

1章 グローバル化

資料映像《オカパ・コネクション》17分 使用

ねらい ①身近なモノから「自身と世界のつながり」に気づく
②世界とのつながり（グローバル化）を有効に利用する手段としての「フェアトレード」について理解する。

その際、特に「援助」との違いについて考えさせる。

キーワード：フェアトレード、物的支援、資金援助、人材育成支援、技術支援

授業形態：視聴（《オカパ・コネクション》17分）、個人・グループワーク、講義、発表

時間：50分



導入 8分

Q あなたが日本に居ながらも世界とつながっていることを実感・体験した例を挙げてください。
→グループか個人で考えさせる → 発表

展開

回答を共有して、身近なものでも視点を変えると世界とのつながりが見えることを気づかせる。

視聴 17分

→日本と比較し、①職業選択、労働の格差と、②地域と世界のつながりを気づかせる。5分

Q フェアトレードは、地域の人々にどのように貢献していますか？ 10分

→グループで話し合い →発表

→a.栽培者たち（地域）の団結力を生む

 b.収益から地域の開発が可能

まとめ 10分

Q 資金や物資による支援とフェアトレードの違いは？

→「可哀そうな人のために援助してあげる」態度と「現地の人々自らの手で改善する」ことに違いがあることを理解させる。

発展（課題探究的な学習、レポート作成など）

→フェアトレードの背景や実例・南北問題などの調べ学習へ

ワークシート I-8

フェアトレードについて考えよう

資料映像①《オカパ・コネクション》17分

Q 1. あなた自身が日本に居ながらも世界とつながっていることを実感・体験した例を挙げてください。

Q 2. この地域の人々が就く主な職業は？

Q 3. フェアトレードは、地域の人々にとってどのように貢献していますか。2つ挙げてください。

「教育や衛生など、すべての問題が道路の建設により改善される。フェアトレードに着眼したのも一番の理由はここにある。村人が自らの手で環境を改善できるのではと思った。」(9:25)
この部分を伝えたい。日本人として「可哀そうな人々のために援助してあげる」態度と「現地の人々が自らの手で改善する」ことに貢献するフェアトレードの違いを理解させる。物資による援助は一過性のものである。また募金などによる援助も直接それを必要としている人々に届かない事例があること等から、これまで一般的に行われていた「一方通行的な援助」のあり方を再考する。

Q 4. 募金や物資による支援と、フェアトレードの違いは何だと思いますか。

4章 差別 資料映像《ヒジャブ》8分 使用

- ねらい ①文化の多様性について考える。
②他文化についての調べ学習をする。
③差別・差別について考えることから、他者を理解するとはその人の背景を知ることが必要であることに気づく。

キーワード：文化の多様性、イスラム、他者理解

授業形態：視聴（《ヒジャブ》8分）、個人・グループワーク、講義、調べ学習、発表

時間：50分

導入 5分

Q あなたのこだわりは何？

→個人で考えさせる。 → 発表

Q もし、そのこだわっているものが否定、拒絶されたら？

視聴 8分

展開 25分

Q 映像を見て感じたこと考えたことを話し合う。

→グループワーク → 発表

ディスカッション

Q ヒジャブと帽子の違いは？

Q ヒジャブは禁止だけど帽子は許されるのはあり？

Q もしあなたがあの主人公だったら？

→グループもしくは個人で考え、意見交換。

まとめ 10分

→あの少女がヒジャブを着ける背景の説明から、背景を知らずに判断するのではなく、他者を理解しようとする際は、文化・社会的背景を調べることが大切であることを伝える。

課題 新聞記事の紹介（「私と世界」HP参照）

イスラム教、ヒジャブまたは、他文化について調べレポート。



○ ヒジャブをみた感想を書いてください。

「銀行に入っては銀行に従え」という言葉がありましたが宗教に関しては、その言葉はあではあるのか
考えさせられました。しかし、VTRを見ると、ただの差別。それが何よりもわからずいい。
信じるものばんそれぞれであります。自由であると思います。先程も上げました、宗教は、
銀行に入て銀行に従え、従う必要はないし、そのものからくる文化もただず必要はないと思ひます。また、このVTRを見て、何故自分が知っているものしか認められないのか。
やはり自分が築いてきたものと壊されてのを恐れていますがもしくないのひじょう。
実際私も恐いです。しかしそれを認め合わなければ、自分の世界はとても狭いものになってしまい、自分のことを認めてもらおうとしているのです。
だからこそ相手を認め合うことが大切だと改めて考えさせられ、自分の行動を見直すきっかけになりました。

○ ヒジャブをみた感想を書いてください。

メモ>
宗教や思想の自由を守るために、
イスラムの教徒にあるヒジャブとなるように
先生に言わせること
無宗教の学校
クラスメイトは思い思いの髪型をしていました。

私がいつも使う者は窓の馬鹿には白い服を身にまとめてアラブ系の男の人や、
お母さんは黒いスカーフのよう「おもむを豆娘にかけ、その子供も黄色い幼稚園や公園で
肩からかかれてお母さんと同じスカーフを頭にしている方がよくいます。最初は
少し驚きましたが、今では普通の光景と同様に受け入れられています。
VTRの先生は、宗教や思想の自由を守るために、彼女にヒジャブをとるよう
言いましたが、それは違うよう気がします。国籍が異なれば「思想や
宗教も異なるから当然でそれを否定された彼女はとても嫌な思いを
します」と思っています。
服装や髪型が自由であれば、それと同じように宗教について自由や
認められて良いのです(まいりや)と思いまして。

5章 自然と人

資料映像《汗より水》15分 使用

- ねらい ①人間中心や自然中心などの生き方を考える。
②世界の水問題への気づきを促す。
③日本の常識が世界のスタンダードではないことに気づく。

キーワード：水問題、格差、開発、共生

授業形態：視聴（《汗より水》15分）、個人・グループワーク、講義、発表

時間：50分

導入 15分

- Q. 人間のために護岸工事をするか、自然保護のために工事はしないかの設問。（テキスト76ページ）

→グループワーク → 発表

視聴 15分

展開 15分

- Q. 日本では当然だと思っていることとの差異は？

→グループワーク → 発表

→この際、「蛇口をひねれば水が出る」のような回答が予想されるが、それ以外の事にも目を向けて話し合わせる。（女性問題・子ども労働・開発など）

- Q. この映像に、別の邦題を付けてください。

→ グループワーク → 発表

まとめ 5分

→世界がより身近になった今日、「今ここ」だけの視点のみで物事を捉えるのではなく、別の現状（常識）があることも常に意識するべき。

発展（調べ学習のテーマ例）

私が思っていた日本と海外から見た日本の差異・日本の食料廃棄の現状・水ビジネス・世界の水問題



© Mochammad Toba

- 川岸の工事に関して班員で話し合い、班としての決定をだしてください。

「言葉岸工事」（はじよい）

人間優先が環境に適応すればいい！
地元或は住民（生息者）はすでに適応してる（生息するう）
ほんらん対策。→ 地下に貯水池を作ろ。
魚を増やしつ。

- 川岸の工事に関して班員で話し合い、班としての決定をだしてください。

工事不行。川魚の博物館に保護させる（博物館に保存）
人間が活動させる（魚も活動させる）→ 魚がやから下げる。
人間が川魚の命を守る方法。
人間が川魚が育む場所なりに何故人間がいた家を建ていかねば
→ 魚がやからいい。
命守る事前提にしたく居し。
博物館では魚の研究として、時に繁殖させよう。

- 川岸の工事に関して班員で話し合い、班としての決定をだしてください。

意見
環境を保護しつ。人が安全に住めないように工事をする。
監視局は、人間が魚よりも強い。
どちらかが争うかすべき。→ やつ（より魚？ 魚は保護できよか？
いいの 沈没の程度が分からぬ）。

まず側面だけ工事して、魚が増えて安定したら、底を工事していく。

- 汗より水をみた感想を書いてください。

日本はどの程水に恵まれている国なのか 改めて考えさせられました。
蛇口をひねれば大量の水が止まることなく出てきました。それを私はとても
当たり前にと考えていましたが、とても驚かれていたことだと気が付きました。
また、子供の魚に頑張る親はとてもかっこいいと思いました。
わざわざ水をみてて多くの人々が「河岸の川に集中する。いつかは枯渇
しそう。水に関するこのインフラを高める必要がある」と思いました。
これから先、水に関する争いや、争いを減らしていく必要があります。
汗水より水はこのような現状と社会に詳しいのだと思いました。

- これまであなた自身が体験・実感したことのある環境問題をあげてみてください。

一番身近に感じたのは、近くの土手のようなどこか、小さい子の遊び場になっていて、私も遊びついでいたのに、家が建ったことによりて中途半端に工事され、危なくなってしまった。遊び場としても使えなくなってしまった。それに、そこにはいた虫や鳥たちの生態系も二かわてしま、たとえうし、大雨の時に土砂が流れているのを見て、木が、土が保全をしていることを実感して。

- これまであなた自身が体験・実感したことのある環境問題をあげてみてください。

最近、裏山の木を20キロ切った。
もったいないと親に言つたが、土石や薪などがあれば、家が壊されたら困ると言ふ言ふしました。
人間から見れば家を壊されたら困るが、自然から見ればいい迷惑だと思った。

- ヒジャブをみた感想を書いてください。

6章 戦争と平和

資料映像《トレランス》6分 使用

- ねらい ①自然、他者と共生することの大切さに気づく。
②「エゴ」が及ぼす影響について考える。

③自分と異なった者とうまくやっていく方法を考える。

キーワード：共生、エゴ、寛容、他者理解

授業形態：視聴（《トレランス》6分）、個人・グループワーク、

講義、発表

時間：50分

導入 5分

Q エゴということばを知っていますか？

→辞書等で調べる。 → 発表

展開 4分

→「私たちは自然や他者と共に生きているはず。「共生」と「エゴ」をキーワードに映画を観てください。」

視聴 6分

→グループもしくは個人で感想を話し合う、書く。→発表

ディスカッション 25分

Q エゴを持っていない人はいる？

Q エゴを持ちながらも互いに共生することは可能？

Q 映画の2者を身近なものに置き換えたら？

→グループもしくは個人で考え、意見交換。

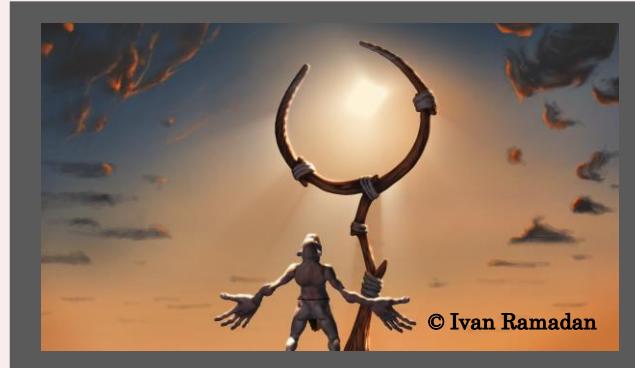
まとめ 10分

→エゴを前面に出すと、結局は互いに壊れる。

→人間界と自然界をエゴ・共生の視点から見る。考える。

→身近な人間関係をエゴ・共生の視点から見る。考える。

→共に生きることの大切さを伝える。



～授業中のやりとりから～

生徒A：文明を築き上げてきたのに、もう一方の文明の方が「こちらの方が優れている」と思い込んだことから戦争になり、お互いを倒しあう結果となってしまった。この先戦争のない世の中にするには、お互いの良いところを認め合う必要があると思った。

教師「今起きている戦争に関しても「認め合わなきゃだめだ」と言えばそれで戦争はおさまるのかな。」

生徒A：そういうわけにもいかない。

教師「他の生徒の意見も聞きながら一緒にいろいろと考えよう。」

生徒B：文明を発達させた人類が宗教等で争いあい、最後はお互いに傷つけ合うことを表現したのだと思った。宗教の違いによる戦争で傷つけあうのは悲しいと思った。

教師「どこから宗教を感じたのかな？」

生徒B：拝んでいたところから。

教師「悲しいのはなぜ？」

生徒B：作るのは大変だけど、壊すのは簡単。直すのには時間を要する。また戦えばまた壊れる。

生徒C：相手と競い合うが、最後には何も残らず、自分も滅ぼしてしまうことを伝えたのだと思う。

教師「競争がよくないってこと？」

生徒C：競争すべてが悪いわけではないが、戦争は良くない。

生徒D：今も昔も民族や宗教や文明の違いから争いになるということと、だからこそ認め合って平和にしていくこうという作者の意図があると感じた。

教師「宗教や文明が違うっていうことはつまり、何が違うんだろう？」

生徒D：考え方や価値。

～生徒のレポートより～

◆この映像は短いものの、戦争の本質を捉えた内容の濃いものだと思った。戦争をなくすためには、まず1人1人が「自分の文化は絶対的なものだ」という観念から脱却し、異文化を理解し、尊重することが重要だと思う。「トレランス」は「忍耐・寛容」といった意味があるが、他者の寛容な理解が必要なのだろう。

私が1番印象に残ったのが、
「エゴはいつもすべてをこなす」ということです。
「エゴ」の大作戦にとてもあたふたと思う。それがどちらを
どう自分をコントロールさせようか。が
大変なんじゃねいかと思いました。
相手の気持ちを考え、かんさんそういうところがいい
ことなんだと感じました。
これからは、相手の気持ちを少しでもわかるからやうやうが、
そんなになりやうござす。

私はどちらで生きるかということを改めて感じました。

学校や社会、どこに行ても「トドケは何も出来ない」と思いました。
自分の勝手な勝手なのは、相手の自分も、最終的には「やがておもむにかかっています。
「エゴ」という言葉の発展に「エゴ」は自分のものをこわしてしまった。
ということを学びました。

自分が生きていくにあたって、自分が勝手なことばかりやめて、相手の気持ちを
尊重していくことが大切だと感じました。

英語科で行う「感じ、考え、表現する授業」

「無声アニメのセリフ付け」全3回；20分×2、50分×1(発表時)

対象作品	テーマ
《命の度合い》7分	… 環境、他者理解、つながり
《トレランス》6分	… 共生、エゴ、他者理解、寛容

導入(1回目)

セリフが一切無い映像を観て、自分なりのメッセージを英語で表現してみよう。

視聴

全体で映像を視聴する。

グループ分け

6名前後のグループを作る。

担当の分担

①映像をグループ人数で割り振り、各自それぞれの箇所にセリフを入れることにする。

例)6分の映像を6名で1分ずつ担当。

課題

自宅で映像を視聴し、担当箇所のセリフを考える。

→教室の画面の大きさに合うサイズの紙に、タイプまたは手書きでセリフを書く。

(発表時は、一時停止をしてセリフを書いた紙を見せる)

グループワーク(2回目)

各自が持ち寄った台詞を通して発表の準備をする。セリフの修正等も行う。

発表(3回目)

グループごとに画面の横に立ち、それぞれが用意したセリフを映像に合わせて発表する。

他グループの発表を見て、印象に残ったセリフをワークシートに書いておく。

例)《トレランス》6分使用

1班

2班

3班



Oh, what do you think you are
doing to me !?? I am the strongest.

Get out!



Oh, no! Please don't do that!
We could be friends.....
Why don't we get together and
built another one?



????
I.....
Screw.....
YOU!!BUSTER!!!!!!

授業/夏休み等の宿題・課題

Point!

各生徒が映像と本文を持っているので、自宅でも取り組めます。

実践例1. 12本ある映像(6分～26分)の中から、課題を出して感想文を提出させている。

実践例2. 映像を指定して、「問い合わせ」を一つ投げかけ、それに対する回答を提出させる。次の授業で生徒の回答を共有してそこからディスカッションに発展させている。

実践例3. 映像は教室で視聴するので、本文精読を宿題にしている。その後、もう一度各自で映像視聴させることで、また違った視点を得させることができる。

実践例4. 夏休みの宿題を2種類用意して生徒に選択させる。その一つとして、ある章の本文と映像から考えたことのレポート提出にしている。

エッセイコンテスト

Point!

苦労するテーマ決めや導入部分に、映像がきっかけを与えてくれます。

活用例1. 学内など、同一テーマによるエッセイの題材として活用。

提出後は、同じ映像を観た複数生徒の感じ方、意見を共有することで、生徒の視野が広がる。

活用例2. 映像や本文に対する意見・感想文をエッセイに発展させる。

生徒自らの体験と、深く考えさせられる抽象的な映像/世界の現実映像を結びつけることで、視点が広がり、エッセイの内容がより深まる。

活用例3. エッセイのネタ、色づけとして活用。

12本の映像を視聴するだけでも12個の新しい知識や視点を養えることから、内容が深まる。

活用例4. 「私と世界」エッセイコンテストへの参加。

今後開催予定の「私と世界」エッセイコンテストに参加して、同一テーマで全国の高校生が感じえたことを共有。

その他の使用例

『私と世界』
本文
設問
ワークシート
資料映像 DVD

「地歴公民」「国際」科目

副教材として、科目の単元・トピック毎に本書を使用。

- ・資料映像(DVD)視聴を単元の導入として。
 - ・本文テキストから単元の探究的な学習へ。
- 本書は「自己とのかかわり」を重視しています。

「総合的な学習の時間」・「道徳」

副教材として、教科書から発展させた学習へ。

指導要領においては、総合的な学習の中に「国際理解」や「環境」が位置付けられています。また、自ら課題を見つけ、解決する能力の育成に、「教科横断的に取り組む」とされています。

推薦・AO入試 小論文対策

小論文の題材として、章・見出し単位で本書を使用。

知識の習得材料として、資料映像(DVD)視聴を活用。本文中の設問、ワークシート、およびウェブでのワークシートを活用しながら、現在国語の教師も使用しています。

問題・課題意識を持たせる

- ・探究的な学習
- ・調べ学習
- ・体験的な学習

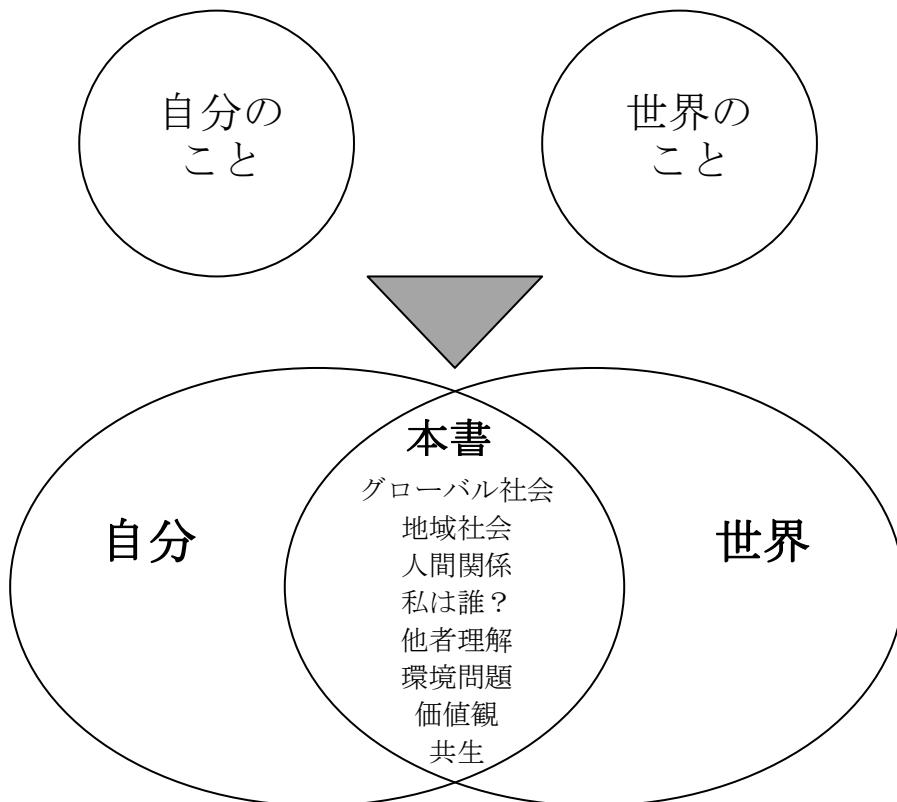
【課題追求的な学習】

- ・文章表現
- ・課題の発表
- ・ディスカッション

【言語活動の充実】

- ・各生徒が本文と映像を所持するため、課題にも最適
- ・本文中の設問とワークシート、及びウェブ上のワークシートや資料を活用することで、授業準備の時間を削減
- ・教師用ウェブ・サイト上で、他校の使用例を参考
- ・教師用ウェブ・サイト上で、ワークシートのひな型をダウンロードし編集して使用

本書を使用している生徒たちは、世界を自分のこととして感じ、考えています



生徒の声

- 今までと違った感じの授業で、とても新鮮だった。自分自身や自分をとりまく環境について深く考え、感じることができて、予想外の発見をすることもできて、自分にとって有効的だった。
- いつも近くにあって当たり前のやうなもののことを考えなおすのは結構大変だなと思いました。
- 今まで考えたこともないことを考えることができた。もっと自分の身のまわりに意識を向けていきたいと思いました。
- 一本の映像を観て、共存していくうえで一番大切なことは、自分のことばかり考えず、相手の事情も良く考え、最終的に両方の得になるようにすることだと思った。
- 言いがかりから暴力に発展していくことや、やられたらやり返すこと等、今の時代の私たちの行動を分かりやすく表現したのだと思った。《トレランス》6分を観て
- 5分間の《トレランス》を観た時、「エゴ」が双方を壊すことがとてもみじめだと思いました。
- 《トレランス》には、エゴに生きることによって何が起こるかを思い知らされた。
- 母鳥が子供を守ろうとする気持ちは分かりますが、どうしてもそのためには多くの犠牲をいとわない「エゴイズム」が見えてきてしまいます。言い換えれば、これは私達、自然に対する「人間」の姿を「鳥」に置き換えたものであり、私たちは今一度他の生物との関係性を見直すべきというメッセージを受け取りました。《命の度合い》7分を観て
- 短い作品でしたが、全体を通して意味がわかったような気がします。この話はスペインが舞台ですが、これから国際化の波で日本にもこのような事態が起こることが十分にあると思います。《ヒジャブ》8分を観て
- この作品は「ヒジャブ」を通して、差別をなくそうとする行動によって起こる逆差別を表現していると思った。《ヒジャブ》8分を観て

~映像とテキストから読み解く「私」そして「自身と世界の関係」~

全ては自分とつながっている。

自己理解は他者理解。自己発見は他者発見。

- 編者：綾部真雄（首都大学東京）
 - サイズ種別：A5 判/2 色
 - ページ数：112
 - DVD1 枚（12 作品 164min.）
 - 価格：生徒/学生副教材使用 1,000 円（本体）
校内上映/貸出権付き 10,000 円（本体）
 - 2011 年 2 月 25 日 初版第 1 刷発行
2015 年 4 月 23 日 第 5 刷発行
 - 構成
 - 第 1 章 グローバル化
 - 第 2 章 コミュニティ
 - 第 3 章 アイデンティティ
 - 第 4 章 差別
 - 第 5 章 人と自然
 - 第 6 章 戦争と平和



綾部真雄 編
私と世界
6つのテーマと12の視点

あなた自身、及びあなたと世界の関わりを、6つのテーマと12本のショートフィルム（視点）を通して考えるテキスト。文化人類学、社会学、心理学、国際関係論、環境学、哲学など様々な分野のエッセンスが、初学者向けの工夫を施されたうえで散りばめられている自分理解、世界理解の入門書。（※平成23年度より国公私立高校/大学で使用され始め、高い評価を得ています。）

■本書が重視するもの

① 自己との対話を深める（☆進路・キャリア教育☆ 存在意義から将来像へ）

本文、設問、ワークシートは、すべて「自分自身」と各章のテーマの関係を意識させる構成になっています。

② 自己と世界のつながりに気づく（☆グローバル教育☆ グローバルな視野）

本文、設問、ワークシートは、すべて「自分自身」と「世界」のつながりを意識させる構成になっています。

③ 読解力・思考力・判断力・想像力・表現力等を育む

(☆表現力教育☆ プレゼンテーションや小論文)

各章には、「テーマへの導入」「課題研究」に適したショートフィルムが2本ずつ添付されています。
(本文はショートフィルムの解説ではありません)